

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年3月5日
【会社名】	DMG森精機株式会社
【英訳名】	DMG MORI SEIKI CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 森 雅彦 奈良県大和郡山市北郡山町106番地
【本店の所在の場所】	(注)上記は登記上の本店所在地であり、実際の本社業務は「最寄りの 連絡場所」で行っております。
【電話番号】	0743(53)1125(代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長経理財務本部長 近藤 達生
【最寄りの連絡場所】	愛知県名古屋市中村区名駅二丁目35番16号
【電話番号】	052(587)1811(代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長経理財務本部長 近藤 達生
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【提出理由】

当社は、平成26年3月4日（火）付取締役会において、欧州及びアジアを中心とする海外市場（但し、米国及びカナダを除く。）における当社普通株式の募集（以下「本海外募集」といいます。）を決議し、同日付で金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第1号の規定に基づき臨時報告書を提出しておりますが、平成26年3月4日（火）に本海外募集の条件、その他本海外募集に関し必要な事項が決定されましたので、これらに関する事項を訂正するため、金融商品取引法第24条の5第5項及び同項により準用される同法第7条第1項の規定に基づき、本臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正内容】

訂正箇所は\_\_\_\_\_ 罫で示してあります。

### (3) 募集価格

(発行価格及び処分価格)

(訂正前) 未定

(日本証券業協会の定める有価証券の引受け等に関する規則第25条に規定される方式と同様のブックビルディング方式により、平成26年3月4日（火）から平成26年3月6日（木）までの間のいずれかの日（以下「発行価格等決定日」という。）の東京証券取引所における当社普通株式の終値（当日に終値のない場合は、その日に先立つ直近日の終値）に0.90～1.00を乗じた価格（1円未満端数切捨て）を仮条件として、需要状況等を勘案したうえで、発行価格等決定日に決定する。)

(訂正後) 1,442円（なお、発行価額との差額は、引受人の手取金となる。）

### (4) 発行価額

(会社法上の払込金額)

(訂正前) 未定

(日本証券業協会の定める有価証券の引受け等に関する規則第25条に規定される方式と同様のブックビルディング方式により、発行価格等決定日に決定する。)

(訂正後) 1,380円

### (5) 資本組入額

(訂正前) 未定

(資本組入額は、会社計算規則第14条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額（1円未満端数切上げ）を発行数で除した金額とする。なお、自己株式の処分に係る払込金額は資本組入れされない。)

(訂正後) 690円（なお、自己株式の処分に係る払込金額は資本組入れされない。）

### (6) 発行価額の総額

(訂正前) 未定

(訂正後) 30,545,229,120円

(7) 資本組入額の総額

(訂正前) 未定

(資本組入額の総額は、会社法上の増加する資本金の額であり、会社計算規則第14条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、当該資本金等増加限度額から上記の増加する資本金の額を減じた額とする。なお、自己株式の処分に係る払込金額は資本組入れされない。)

(訂正後) 9,983,175,990円 (資本組入額の総額は、会社法上の増加する資本金の額であり、また、増加する資本準備金の額は9,983,175,990円である。なお、自己株式の処分に係る払込金額は資本組入れされない。)

(12) 提出会社が取得する  
手取金の総額並びに  
用途ごとの内容、金額  
及び支出予定時期  
(訂正前)

手取金の総額

払込金額の総額 311億円(見込)

発行諸費用の概算額 1億円(見込)

差引手取概算額 310億円(見込)

なお、払込金額の総額は、発行価額の総額と同額であり、平成26年3月3日(月)現在の東京証券取引所における当社普通株式の終値を基準として算出した見込額である。

用途ごとの内容、金額及び支出予定時期

上記差引手取概算額310億円について、80億円を米国工場、天津工場の生産増強・機種拡張のための設備拡充及び国内の主力伊賀事業所を始め各事業所に新鋭設備を導入し生産改善のために、50億円を世界各地の販売拠点のショールームの整備及び展示機の充実のために、30億円をショールーム及び研修機能を備えた東京ヘッドオフィスの建設のために、40億円を DMG MORI SEIKI AKTIENGESELLSCHAFT との共同販売・共同開発・共同生産などにおける協業深化のための情報システム統合に活用する。また、残額は、財務体質の健全化に充当する。

(訂正後) 手取金の総額

払込金額の総額 30,545,229,120円

発行諸費用の概算額 1億円

差引手取概算額 30,445,229,120円

用途ごとの内容、金額及び支出予定時期

上記差引手取概算額304億円について、80億円を米国工場、天津工場の生産増強・機種拡張のための設備拡充及び国内の主力伊賀事業所を始め各事業所に新鋭設備を導入し生産改善のために、50億円を世界各地の販売拠点のショールームの整備及び展示機の充実のために、30億円をショールーム及び研修機能を備えた東京ヘッドオフィスの建設のために、40億円を DMG MORI SEIKI AKTIENGESELLSCHAFT との共同販売・共同開発・共同生産などにおける協業深化のための情報システム統合に活用する。また、残額は、財務体質の健全化に充当する。

以上